

一般質問通告書

平成26年6月定例会

1番 岡山 明 議員

1 道路の総点検の取り組みについて

- (1) 道路維持管理費の経年変化とその内容はどうか。
- (2) 国道、県道、特に市道等の総延長距離は。
- (3) 道路陥没の件数、起因する事故原因、費用はどうか。
- (4) 市としての防止対策は万全か。

2 たばこ対策について

- (1) 受動喫煙防止対策について
- (2) 喫煙率の数値目標とたばこ対策について
- (3) 禁煙の日の普及啓発はどうか。

3 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金について

- (1) 対象人数はどの程度か。
- (2) 周知徹底方法はどうか。
- (3) 支給体制は万全か。

2番 山田 伸幸 議員

1 介護保険制度の改悪と市の対応について

- (1) モデル事業で明らかになった問題点
- (2) 将来にわたり安心できる介護とするために市がすべきことは何か。
- (3) 検討するとしたボランティアポイント制度について、どのように発展させようとしているのか。

2 公民館を中心とした地域づくり、市づくり

- (1) 公民館への職員配置について
- (2) 公民館で扱う現金管理について

3 公園通り周辺のまちなみについて

- (1) 県が考えている県道拡張方針に市としての協力体制は。
- (2) 「新有帆川大橋」開通までに南小野田踏切付近道路の渋滞対策を。

3番 岩本 信子 議員

1 学校・家庭・地域の連携について

- (1) 地域協育ネットの取り組みについて
- (2) コーディネーターの育成とネットワーク作りの体制について
- (3) コミュニティ・スクールの取り組みについて
- (4) 保護者や地域住民が学校運営に参画する取り組みについて
- (5) 放課後子ども教室と放課後児童クラブについて教育委員会としてどう考えるのか。
- (6) 「新しい公共」についての教育政策はどうか。

2 学校給食について

- (1) 修正された給食センター建設について、教育委員会会議での意見はどうか。
- (2) 現学校給食施設の問題点とその改善策は考えていくのか。
- (3) 教育委員会と市長部局との関係について

4番 中島 好人 議員

1 生活保護行政について

- (1) 2013年8月から生活扶助基準が切り下げられているが、当市の影響について
- (2) 平成25年11月12日、参議院厚生労働委員会における「生活保護法の一部を改正する法律案に対する附帯決議」への当市の対応について

2 餓死・孤立死を防ぐ体制づくりの確立について

3 子育て支援における学童保育の拡充について

- (1) 「子ども・子育て支援法」への当市の対応は。
- (2) 学童保育の基準を条例化。

4 中小企業支援について

- (1) 「中小企業振興条例」制定に向けての進捗状況について
- (2) 「公契約条例」制定について

5番 笹木 慶之 議員

1 企業誘致の推進について

- (1) 「企業立地フェア2014」への出展と市長プレゼンテーションセミナーを終え、どのような感触を得られたか。また、その後に新たな状況変化を感じられるか伺う。
- (2) 企業立地の優遇制度及び既存企業等の対応について伺う。

2 行政改革大綱について

平成19年から平成25年までの取り組みとその成果については、高く評価する。その上で社会情勢は今大きな変革の時にあると思うが、改訂

版に新しい取り組みが掲げられていない。それでいいのか伺う。

3 中山間地域対策について

- (1) 農林業の振興と過疎化対策について伺う。
- (2) 県においては、中山間地域の活性化支援のため「県庁中山間応援隊」を結成し、6月から活動を開始することとされた。本市の実態とその対応について伺う。
- (3) 人口減社会の到来により地方の危機が叫ばれている。この問題との関係をどのように考え、どのような対策を取るのか伺う。

6番 下瀬俊夫 議員

1 憲法解釈の変更について問う。

これまで違憲としてきた集団的自衛権の憲法解釈を、安倍政権が閣議決定により変更しようとしている。

- (1) 憲法は権力を縛るものとの近代の立憲主義についてどう思うか。
- (2) 憲法擁護義務のある自治体首長として、この解釈改憲論をどう受け止めるか。

2 デマンド交通について問う。

- (1) 公共交通体系全体の中でデマンド交通の位置づけはどういうものか。
- (2) 10月実証運行予定がなぜ来年1月に変更されたのか。
- (3) 新病院へのデマンド交通の乗り入れはなぜできないのか。(路線バスとデマンド交通、コミュニティバスの関係について)

3 新市民病院の救急医療体制について問う。

- (1) 旧病院と新病院での救急患者受け入れ体制はどう違うのか。
- (2) これまでの議会答弁を踏まえて、救急患者への対応と改善策について聞く。

7番 吉永美子 議員

1 環境問題について

- (1) 3Rの中で、リデュース（ごみの発生抑制）の取り組みについて今後の予定を聞く。
- (2) ライトダウンキャンペーンへの協力状況を聞く。
- (3) ミストシャワー設置の効果と今後の予定を聞く。

2 市民活動支援について

- (1) 市民活動支援状況を聞く。
- (2) 市民活動支援センター設置の予定を聞く。

3 高齢者の移動支援について

交通機関について、利用料助成を行えないか。

4 コンビニエンスストア活用について

- (1) 住民票などの証明書発行の予定はどうなっているか。
- (2) 店内へのAED設置を協力依頼できないか。
- (3) コンビニ健診の考えを聞く。

8番 福田 勝 政 議員

1 有帆緑地の埋立状況について

- (1) 埋立は計画どおり推移しているのか。また工事中に事故はなかったか。
- (2) 環境保全に問題はなかったか。
- (3) 臨時職員2名で管理されているが、計画では1名は環境問題の監視を含めて、地元の有帆地域の人を雇うとの約束であったが、今もそうか。
- (4) 事業終了後（埋め立て終了）の埋立地の管理はどうするのか。

2 学校における薬物防止の教育について

- (1) 各小中学校における薬物防止教育について問う。
- (2) 教職員に対する薬物防止研修について問う。

3 災害時の避難場所について

- (1) 市内の避難場所51カ所のうち、耐震化をクリアしているのは何カ所か。
- (2) 昭和56年5月以前に建設され、耐震診断の結果耐震補強が必要な箇所は何カ所で、どのようにするのか。
- (3) 昭和56年5月以前に建設された建物の森本公会堂と長生園は、どうされるのか。
- (4) 長生園の避難場所を隣にあるケアハウス山陽の一階の交流スペースにできないか。
- (5) 市のホームページに避難するときにはできるだけ水、食べ物を準備してくださいとあるが、避難場所には、常時置いていないのか。

4 日本フットボールリーグのレノファ山口の支援について

- (1) 市は具体的にどのような支援を計画しているのか。
- (2) 県立おのだサッカー公園で公式試合は観客数が少なくてできないが、将来的には考えているのか。
- (3) 最近の県立おのだサッカー公園の利用状況はどうなっているか。

9番 中 村 博 行 議員

1 レノファ山口への支援について

- (1) レノファ山口が本市に期待している支援とはどのようなものか。

(2) JFLの試合実施について、スタジアムの観客席などクリアすべき問題があると思うが、対処は可能か。

2 選挙投票率向上について

(1) 大型商業施設での期日前投票所の設置を前向きに検討すべき時期に来ているのではないか。

(2) 若者の政治参加対策に青年議会など新たな取り組みの検討はされているか。

(3) 高齢者のため、投票所の変更・増設等の検討はされているか。

3 ごみの不法投棄について

(1) 自治会のごみ集積所へ他地区・他市からの持ち込みが確認されるが承知されているか。

(2) 粗大ごみ等の不法投棄・不法持ち去りを許さない姿勢を市内外に示す方策を検討してはどうか。

(3) 不法投棄に関する条例の整備をしてはどうか。

4 高齢者の生活環境について

(1) 健康寿命がクローズアップされているが、本市の平均寿命と健康寿命はどうなっているか。

(2) ねんりんピックを控え、PR体操など、体操の普及に努めてはどうか。

(3) 高齢者の死因の上位にある肺炎、その原因ともなっている「肺炎球菌」のワクチン予防接種の助成はできないか。

10番 伊藤 実 議員

1 山陽小野田市の将来構想について

住み良さランキングとは対照的に魅力度ランキングでは全国でも下位に県内市では最下位にランキングされている。当市の魅力を更に強化、発信し、交流人口、定住人口増加は喫緊の重要課題である。そこで「チーム市役所」のトップである市長の具体的な構想を問う。

11番 杉本 保喜 議員

1 国政選、地方選の投票率向上策としての環境整備を問う。

総務省が国政選、地方選の投票率向上策の検討を始めたとのことだが、市の方向性等を12月議会での質問を踏まえて回答されたい。

2 防災力、減災力向上策の進捗状況を問う。

(1) 6月5日実施のJ-ALERT（全国瞬時警報システム）試験放送の結果と問題点、その対策は。

(2) 過去に災害発生の多かった梅雨に入るが、市としての準備（排水ポン

プ試験等)、対策は。

(3) 避難勧告の発動時期が、昨年の県内災害で問題視されているが、当市の対応は。

(4) 市が管理する建築物の耐震状況と今後の対策（対応順位、資金、住民との対応等）は。

(5) 防災アドバイザー制度が県主導で始まったが、当市での状況と市としての活用策は。

3 本市における「土曜授業」に対する対応を問う。

今年度から正規の土曜授業が解禁されたことから、市教委として今後の方針と実施について回答されたい。

1 2 番 石 田 清 廉 議員

1 市民が安心して暮らせる環境づくりについて

(1) 本市の自然災害に対する施策を問う。

本市の地形は西部から南部にかけて海岸線に面し北部一帯は中国山系の尾根が東西に走り、平地は市の中央部を流れる厚狭川、有帆川の流域に広がり、河口や海岸線の低地は大部分が近世の干拓地である。このような自然条件から台風、高潮、津波、洪水、地すべり、山崩れなど、多種多様な災害発生原因を内包し、多くの生命財産が危険にさらされている。災害は予期せぬ時にやってくるため、災害の未然防止策はもとより、防災対策の強化に努め、災害に強い街づくりを推進していかねばならない。これらの事を踏まえ次の事を問う。

ア 防災体制の現状と課題は何か。

イ 防災対策の重点施策は、どのようなことか。

ウ 市域の現況と保全対策の進捗状況はどうか。

(2) 本市の通学路安全対策について問う。

近年、全国各地において、登下校時の児童生徒などの交通事故をはじめ、死傷する事故が続発している。文部科学省、国土交通省及び警察庁が連携して全国的にまた、山口県においても通学路について、交通安全の確保に向けた緊急合同点検を実施されている。

ア 本市における実施状況はどのようになっているか。

イ 通学路の安全点検の結果、対策必要箇所などの状況は地域で共有認識されているのか。

ウ 行政として今後、より安全な通学路改善のための具体的な実施計画はあるのか。

1 3 番 長谷川 知 司 議員

1 いじめや不登校児童・生徒の支援について

きめ細かい対応が必要とされる、いじめ問題や不登校状態の子ども達を支援するのに、現在の体制で十分と考えているのか。十分でないとするなら、どのようにすべきと考えているか。

2 市総合計画の基本構想のうち、J R小野田周辺の活性化について

J R小野田駅周辺は、「駅前周辺地区の再開発など商業機能の強化による商業振興や都市基盤の充実等を行い、活気と活力のある中心市街地の充実を図る」とある。どのような仕掛けをしたのかその成果を含め確認したい。また、次の点については具体的に聞きたい。

(1) 合併後、駅前振興の施策の展開と結果

(2) 「日の出市場」の今後の対応

(3) J R小野田駅のキオスクの撤退について存続要請の交渉経緯

(4) 駅前ロータリーの街灯が消えていて暗く寂しいが、このことをどのように捉えているか。

(5) 駅前の丸喜が撤退し、コープも撤退すると聞いているが、市としての対応は。

3 ことばの教室について

ことばの面で心配される子ども達には、一人ひとりに応じた指導が必要であり、個別の指導や相談を行っているところがあるが、実態はどうか。体制や施設、教材を含め、学童部、幼児部各々について聞く。

1 4 番 矢 田 松 夫 議員

1 市観光行政の推進について

(1) 観光課設置後のビジョンについて問う。

(2) 観光協会と観光行政の役割について

2 地域イベントやコミュニティ団体と市職員のかかわりについて

(1) イベント他諸団体の事務局が市職員本来の業務か。

(2) 事業の点検、見直しをされ、諸団体へ自立を指導すべきではないか。

3 F Mサンサンきららの役割について

(1) 地域コミュニティとして役割を果たしていると考えているか。

(2) 行政にとって必要な情報発信を行っているか。

1 5 番 河 野 朋 子 議員

1 学校給食施設の建設について

(1) 3月定例会で議会が給食センター建設の予算を修正可決したこと（特

に修正理由) についてどのように受け止めたのか。

(2) 学校給食施設建設の今後の予定はどうか。

2 これからの市政運営について

(1) 市民への情報提供や、市民の声を聞く場として、平成24年度まで対話の日は開催されていたが、今後の予定はどうか。

(2) 円滑な行政運営のため、市長の補佐役として副市長が必要と思うが、来年度まで任命しないのか。